

2019年度 アルミニウム 2次合金地金・合金生産 80万トンを超える

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2019年度(2019年4月～2020年3月)のアルミニウム2次地金と同合金の生産と出荷の実績を発表しました。これによれば、2次合金地金などの生産量と出荷量は共に80万トンを超えました。

生産量は791,249トンで前年度比3.7%減少し、出荷量は799,858トンで前年度比3.2%減少しました。

令和元年度の日本経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱い中で、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に穏やかに回復しておりましたが、消費税増税後は自動車の国内販売が減速するとともに四輪車の輸出も落ち込んで、弱さが一段と増したことなどに加え、年度末になって、新型コロナウイルス感染症の

影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況になりました。

このような経済環境の中で、アルミニウム産業界におきましては、圧延品関係では自動車向けにやや堅調な動きがあったものの、缶材、建設関係とも前年度より減少し、アルミニウム製品総需要は4年ぶりに減少することとなりました。

アルミニウム合金業界におきましても、海外経済の減速による我が国の自動車メーカーの海外生産の減少に加え、年度末の新型コロナウイルスの影響により、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要も大きく減少することとなりました。

アルミ 2次地金・合金の生産と出荷

		2017年度	2018年度	2019年度
総	生産量	805,149 (+1.5)	821,518 (+2.0)	791,249 (-3.7)
総	出荷量	814,213 (+1.6)	826,264 (+1.5)	799,858 (-3.2)
部 門 別 出 荷 量	ダイカスト	461,870 (+1.2)	461,486 (-0.1)	436,047 (-5.5)
	鋳物	201,581 (+2.6)	208,866 (+3.6)	207,577 (-0.6)
	板	53,587 (+0.6)	53,965 (+0.7)	53,459 (-0.9)
	押出	24,186 (+6.3)	21,609 (-10.7)	21,410 (-0.9)
	鉄鋼	43,341 (+2.5)	50,549 (+16.6)	51,948 (+2.8)
	合金メーカー向	27,811 (-2.2)	27,524 (+1.0)	26,883 (-2.3)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

日本アルミニウム合金協会

定 時 総 会 開 催

5 月 20 日 書 面 表 決

一般社団法人日本アルミニウム合金協会の第46回定時総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5月20日付で書面表決の方法で行われました。

会 長 朝来野修一氏（日軽エムシーアルミ）

副会長 北山 悟氏（エスエスアルミ）

副会長 山本隆章氏（大紀アルミ）

副会長 上田雄三氏（福岡アルミ）

事務理事 森本 興氏

世界の景気が米中貿易摩擦等を背景に減速基調にあったことに加え、過剰債務問題、金融資本市場の変動、英国のEU離脱の影響などのリスクが生じていたところに新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなりました。

このような状況下、令和2年度においては、海外の新車需要が減速し、国内自動車メーカーが一時的な生

産停止や調整を余儀なくされることから、自動車向けを主力とする当業界としても大きな影響を受けることとなり、今後の事態の推移を見極めながら柔軟に対応していく必要があるものと考えられます。

高橋記念賞

故高橋愛次氏（株式会社アーレスティの創業社長）のご遺志によって創立された業界で最も由緒ある賞で昭和54年（1979年）6月第1回が発足しました。

アルミニウム合金地金・2次地金製造の技術向上、合理化などに創意工夫を通じて功労のあった現場の技術者に与えられます。

本年度は当社から木口康裕君を推薦、目出度く受賞しました。木口君は溶解担当として活躍、社員の信頼も厚く今回の受賞が決まりました。

**お
め
で
と
う**

高橋記念賞に輝く木口君(写真右)





三ヶ根あじさいまつり

三ヶ根スカイラインは西尾市から形原温泉を結ぶ約5 kmの道路で、「あじさいライン」として知られており、6月から7月上旬に約7万本のあじさいが咲く山路を抜けると、眼下に三河湾の大パノラマが広がります。

例年6月1日から6月30日まで「三ヶ根あじさいまつり」が行われ、あじさいの花と三河湾の眺望が楽しめますが、今年は新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない為に中止となりました。
(写真・あじさいと三河湾)

2月生産

アルミ鋳物 ダイカスト

前年割れ

経済産業省がこのほど発表した2月の生産動態統計によれば、アルミ鋳物の生産量は前年同月比で4.5%減少して34,230トン、アルミ・ダイカストは8.3%減少して79,224トンでした。

新型コロナウイルスの感染拡大や世界的景気の後退などで、アルミ鋳物は5ヶ月連続、アルミ・ダイカストは7ヶ月連続して前年同月の実績を下回りました。

アルミ鋳物は主力の輸送機械（自動車とその他）が4.1%の減少で5ヶ月連続のマイナス。内訳は、自動車が4.5%減の32,121トンで5ヶ月連続のマイナス。輸送その他は13.6%増の761トンで2ヶ月連続して前年実績を上回りました。

一般機械は、10.3%減の588トンで16ヶ月連続のマイナス。その他は13.7%減の761トンで、7ヶ月連続のマイナスでした。

アルミ・ダイカストは、主力の自動車が8.1%減の70,955トンで7ヶ月連続のマイナス。二輪車は9.2%減の1,855トンで13ヶ月連続のマイナスでした。

一般機械は6.8%減の2,377トン、電気機械は10.9%減の1,373トンで、それぞれ5ヶ月、12ヶ月連続のマイナス。その他は11.4%減の2,664トンで9ヶ月連続して前年実績を下回りました。

2月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	34,230	(95.5)
②一般機械	588	(89.7)
③輸送機械	32,882	(95.9)
④その他	761	(86.3)
⑤アルミ・ダイカスト	79,224	(91.7)
⑥一般機械	2,377	(93.2)
⑦電気機械	1,373	(89.1)
⑧自動車	70,955	(91.9)
⑨二輪車	1,855	(90.8)
⑩その他	2,664	(88.6)

休日のご案内

6月も5月同様に毎週金曜日を生産調整日といたします。尚、出荷業務は通常通りに行います。

平原ホタル祭り

西尾市東部の平原地域は、トンボを始め、昆虫類・鳥類などの動物、蒲などの湿地に育つ植物や丘陵地帯独特の花など自然が多く残されている数少ない地域です。

周辺の沢では、ゲンジボタルのエサになるカワニナの生息が見られ、小学校・中学校の児童・生徒の科学部員がゲンジボタルの飼育と研究を行っています。ま

た地域住民も「平原ゲンジボタルの里保存会」を設立して保護に努めています。

毎年、6月中旬には、保存会主催で「ホタル祭り」が開催されますが、残念ながら令和2年の「ホタル祭り」は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となりました。

社内情報

◎高橋記念賞の木口康裕君おめでとうございます。今後の活躍を大いに期待しています。

◎社員の丹精が実って、“アスカ農園”のたまねぎの収穫が終わり、夏野菜の作付けが始まりました。キュウリ、トマトの収穫は楽しみです。

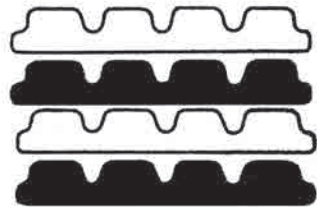
編集後記

◎新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除され、いよいよ経済活動が再開されます。

◎長期間の自宅待機生活は精神的ストレスが溜まります。解除後の反動は危惧されるのですが、経済の早い復活が望まれます。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>